THE KILLER WHALE TIMES

Ｈ２６年度　第３号　対北戦・茨レガ号

おめでとう！！1年生！！

先月のこととなってしまいましたが、茨戸川にて６月８日(日)に対北大戦、６月 14 日(土)・15 日(日)に第４２回朝日茨戸レガッタが行われました。
対北大戦はあいにくの天候で雨天強行となり、漕手はもちろん応援している側にとってもハードな一日となりました。大会後は毎年恒例となっている懇親会が札幌ビール園にて行われ、北大さんの意外な話や有意義な話が聞けて、それぞれ親睦を深めることが出来たのではないでしょうか。
翌週の朝日茨戸レガッタは晴天とまではいきませんでしたが、無風で良いコンディションの中で出来ました。今年の招待クルーは武田大作さんと中部電力さんでした。やはり手も足も出ない程の圧倒的な速さでしたが身近で見て何か得られるものがあったと思います。その後にガトーキングダムにて行われた懇親会に商大からも数名参加しましたが実りあるお話が聞けたようです。インカレまであと少し商大ボート部に生かしていきたいです。
そして見出しにある**“おめでとう！！１年生！！”**。
対北戦、茨レガともに新人 Joy4 で出漕した１年生が見事優勝しました！！
対北戦での新人種目の勝利は約１３年ぶりの快挙となりました。
上級生の成績は奮いませんでしたが、去年、今年と対北戦での勝利があり、商大にとって良い流れが出来てきているのではないでしょうか。
両大会ともにたくさんのＯＢ・ＯＧの方々が茨戸まで足を運んでくださいました。ＯＢエイトでの出漕や茨レガの手伝い、差し入れ等のご協力、大変ありがとうございました。
これからインカレに向けて練習の日々です。お近くに来られた際は是非、茨戸まで足をお運びくださるとうれしいです。

差し入れありがとうございました

対北戦・茨レガ期間中に多くのＯＢ・ＯＧの皆様に茨戸に足を運んでいただき、差し入れを戴きました。ありがとうございました。この場をお借りして部員一同より深くお礼申し上げます。是非またいらしてください！お待ちしております！

森井様(Ｈ１０卒)	お米
折内様(Ｈ１７卒)	スポーツドリンク・果物
熊木様(Ｈ２０卒)	スポーツドリンク
嶋　様(Ｈ２１卒)	スポーツドリンク・ジュース
神田様(Ｈ２２卒)	スポーツドリンク
堂用様(Ｈ２２卒)	お菓子
米田様(Ｈ２３卒)	果物
岩澤様(Ｈ２６卒)	お菓子
海鉾様(Ｈ２６卒)	野菜
上杉ご両親様	スポーツドリンク・お菓子
瀬尾ご両親様	スポーツドリンク・お菓子
中村ご両親様	お菓子

フォア

OBエイト

新人Joy4

応援団

1年生と新トレ

谷津監督

対北大戦

対校男子舵手付きフォア｛S・髙木(3) ３・安生(3) ２・荒木(5) B・平(4) C・中村(3)｝

レーン	クルー	500m	1000m	1500m	2000m	トータル	順位
1	小樽商科大学	1'41"65	1'48"12	1'51"95	1'45"77	7'07"49	2
2	北海道大学	1'39"39	1'42"73	1'48"26	1'42"78	6'53"16	1

５年目　荒木　優之介

今年は伏籠川ではなくペケレットでのレースでした。

スタートのコールが思ったよりも早かったこともあり、スタートで少しずれてしまいましたが、スタ力から立て直し、コンスタント移行も艇速を落とさずスムーズに出来たと思います。練習でフィニッシュの押し切りを強調することを意識してから艇の進みが良くなりメリハリもついたのがレース本番でも再現できていたので、この時点で自分たちができる一番良い漕ぎはできていたと思います。

しかし、500m くらいまではそこまで差はついていなかったのですが、その後ずるずると引き離されてしまい、最終的には 10 秒以上差が開いてしまいました。

トップスピード自体は負けていなかったので、それを如何に持続させるかが今後の課題になると思いました。

フォア蹴り出し

新人Joy4

新人Ｊｏｙ４｛S・田中(1) ３・大塚(1) ２・江口(1) B・阿達(1) C・相原(2)｝

レーン	クルー	500m	順位
1	小樽商科大学	2'40"53	1
2	北海道大学	2'50"24	2

１年目　田中　慶一

対北戦の新人ジョイフォアの整調をやりました田中慶一です。今回の対北戦は十年以上勝てなかった新人ジョイフォアの勝利と、僕や他のメンバーがボートを始めた時からの北大に勝ちたいという思いの強さ故に、深く心に残る大会となりました。

練習は最初先輩方と乗っていたのですが一年生四人で漕ぐようになり、陸では葉弓美さんと雅人さんがエルゴで丁寧に指導し、艇上ではコックスの相原さんが的確に指導するというサポート体制が組まれ、これは間違いなく対北戦勝利の一因になったと思います。二週間前にクルーのメンバーを決定しスタ練、フェザーの練習を中心に行いました。

レースはスタートが合わずに焦り前半は思うように漕げませんでした。しかしコックスがメンバーを統率し後半からは声を掛け合い、自分達のペースで漕ぐことができ、予定通りスパートもかけられました。勝った瞬間は素直に嬉しく、また陸で応援してくれた同期や新トレの表情も印象的でした。

ただレースのタイムは練習よりも遅く、また、僕達のゴールはここではないので常に敵を意識し、商大ボート部のメンバーで高めあい、来年の対北戦でもよい結果を納められるように頑張りたいと思います。

新トレ

３年目　森　葉弓美

今年は６名の１年生が入部しました。新トレとして森(3)、鈴木(3)、相原(2)の３人で１年生を指導しています。

１年生にとって初めてのレースである対北戦。前日はどことなくそわそわしていたり、緊張し過ぎて変なテンションになっていたりしましたが、本番ではスタートから差をつけて１着でゴールしました。500m ではありますが初めてのレースで勝てたことは自信に繋がったと思います。

茨戸レガッタは予選は２位でしたが、決勝では見事１着でゴールしました。今年の１年生は飲み込みが早く、自分で考えて動くことができているのでぐんぐん成長しています。またエルゴのタイムもあまり差がないので、競争意識が生まれてよい練習ができています。

3 人とも初めての新トレで、分かりにくかったり上手くいかないこともありますが、もっと上手く伝えられるよう頑張りたいと思います。

対校女子シングルスカル　｛瀬尾　玲美(4)｝

レーン	クルー	500m	1000m	1500m	2000m	トータル	順位
1	小樽商科大学	2'12"12	2'16"42	2'20"83	2'10"94	9'00"31	2
2	北海道大学	2'06"71	2'11"26	2'11"02	2'04"73	8'33"72	1

４年目　瀬尾　玲美

最後の対北は、初めてペケで行われました。ペケでやる旨を初めて聞いたとき、コース取りが上手くいくか、応援が全く聞こえないところで孤独とうまく戦うことができるかなど、不安要素がたくさんありました。さらに直前練習でトライアルを行った時にスタート 200m で早速逆走してしまったので、不安は募る一方でした。ゴールデンウィークに行われた戸田レガッタから調子は落ちる一方で、不安で不安で、でもそれを考えてしまうと練習に支障が出てしまうから、考えないようにした結果、大事なことも考えないようになってしまったのだと思います。そこで、前からずーっと思っていて、今回確信を持ったことがあります。私が個人名でやっている facebook にも投稿しましたが、(見つけたらぜひ友達申請をお願いします。ボート部の日常や私の練習などについて日々書いています)ボートは力(だけ)じゃなくて頭脳を競うスポーツだということです。考えなくても、ひたすら漕ぎこめば体力はつきます。馬鹿でもマッチョになります。でも、考えなければ、どういう練習が今の自分に必要か、どこの筋肉を鍛える必要があるのか、どこの筋肉はいらないか、何を食べればいいか、などなど、勝つために必要なものはわかりません。マッチョでもボートに使わない筋肉を鍛えてしまい、結局邪魔になるかもしれません。ジャンプする筋肉とか、ボートには要りませんよね。また、ハイレートが苦手だからと言ってハイレートばっかり練習しても、原因が実は漕ぎ自体だったらいくら練習しても体を壊すか変なフォームを身に付けるかだけかもしれません。

ボートは、どれだけ考えて意識して練習して、どれだけその通りに無意識に動くかで強い弱いが決まるのではないかな、と思いました。それを思うと、今大会は、考えが足りなかったから負けたのだと思いました。

もっと考えて練習できたはずなのに。

私の負けは私だけのものではないということ。

私の勝ちは私だけのものではないということ。

年に一回の大会を、わざわざ応援に来てくださるＯＢやＯＧの方々の思い。

大会のためにバイトの時間を調整してくれるアルバイト先の思い。

岸で喉が枯れるくらい声を張って応援してくれる後輩や同期の思い。

長年監督として練習を見てくれている谷津監督の思い。

大会は見に来れずとも、ホームページや facebook などで応援してくれるＯＢやＯＧ、他大学ボート部員の思い。

ハードな生活を懸念しつつものびのびとボートを漕がせてくれる両親の思い。

面と向かって、メールで、ツイッターで、様々な形で応援してくれる友人たちの思い。

それら全部を背負って漕ぎきるのは、たった 2000m です。それを私は認識していたつもりだったけれど、甘かったです。今日の不甲斐ない姿を見て、皆がっかりしただろうと思うと情けなくて申し訳なくて、ごめんなさい、としか言えませんでした。でも、また来ます、とＯＢやＯＧの方々が言ってくださって、インカレで勝ちましょう、と部員たちが言ってくれて、まだ期待してくれるのだと思うと感謝の気持ちでいっぱいで、まだまだ頑張ろう、と思いました。今大会で、初めて艇上で泣きました。気付いたら涙と嗚咽が止まりませんでした。不安だらけで、勝ちたいとは思っていたけど、絶対勝てるとは思っていませんでした。それでも自分でもびっくりするくらい涙が出てきて、自分が本当はどれほど勝ちたかったのか、どれだけ悔しいのか思い出しました。そしてたくさん後悔しました。そして、自分がどれだけボートを好きか自覚しました。

だからこれからは、いくら不安でも、そこから逃げず、忘れようとせず、向き合って、戦えるようになりたいです。わたしは一人ではないことを知っています。多くの人の支えがあって私があります。皆のためにも、私のためにも、強くなりたいと思いました。

文がまとまっていませんが、対北の反省と今後の目標とさせていただきます。

集合写真

第４２回朝日茨戸レガッタ

対校男子舵手付きフォア〔S・髙木(3) ３・安生(3) ２・荒木(5) B平(4) C・中村(3)〕

組	レーン	クルー	タイム	順位
予選１組	1	北大医学部B	3’43”53	4
	2	中部電力A	3’25”00	1
	3	北大B	3’25”53	2
	4	小樽商大	3’33”76	3
順位決定 5位ー7位	3	小樽商大	3’37”80	1
	4	北大医学部B	3’43”39	2

２年目　髙木　颯渡

整調の高木です。対北大戦の時よりも調子を落としてしまったなと個人的には思います。
結果としては、4＋は順位決定にまわり、１着でゴールしました。
招待クルーの中部電力の漕ぎを見ていると、ドライブのスピードが後半まで落ちず、スパートも見てわかるほど上がっていました。
商大はトップスピードは負けてはいないとは思いますが、地力の差を思い知らされるレースとなりました。

フォア

新人Joy4

新人Ｊｏｙ４〔Ｓ・ドンヒョン(1) ３・大塚(1) ２・江口(1) Ｂ阿達(1) Ｃ・相原(2)〕

組	レーン	クルー	タイム	順位
予選3組	1	teamHONOKA	3’51”34	3
	2	石狩翔陽C	4’03”64	4
	3	小樽商大	3’18”52	1
	4	WRCタービンズ	3’47”23	2
決勝	1	道新ファイターズ	3’08”40	2
	2	瀬田RC超熟女	3’28”51	4
	3	WRCエキスパーツ	3’26”45	3
	4	小樽商大	3’07”31	1

１年目　大塚　伸也

６月１５日日曜日、一年生にとって二回目の公式戦として、伝統ある大会である茨戸レガッタのジョイフォアのレースに参加しました。同時に複数の相手と競うのは初で、先輩方から去年の失敗談などを聞かされていたこともあって多少の不安はありましたが、前の週の対北戦勝利により、皆自信をもって臨めていたように思います。一日目の予選を２位で通過し、二日目の決勝では予選１位の相手を終盤の競り合いで制し、優勝という最高の結果を残すことができました。今回の大会では優勝という結果を得ただけではなく、勝つことでレースの楽しさを知る良い機会になったと思います。対北戦から続くこのいい流れを断ち切らずに次の大会でも良い結果を残せるように一年生同士互いに競い合い、切磋琢磨していこうと思います。応援してくださった先輩方、谷津監督、OB・OG の皆様、応援団の皆様、本当にありがとうございました。これからも応援よろしくお願いします。

１年生と新トレ

男子シングルスカル　〔上杉　昂也(4)　森　弘樹(2)　山﨑　守熙(2)〕

組	レーン	クルー	タイム	順位
予選1組	1	髙橋（北大医）	3’53”53	2
	2	武田（ダイキ）	3’44”68	1
	3	松代（北大）	3’54”69	3
	4	森（商大）	4’07”86	4
予選4組	1	上杉（商大）	4’04”36	4
	2	中山（北大）	3’55”55	2
	3	小野寺（北大）	4’02”81	3
	4	山﨑（北大医）	3’54”25	1
予選6組	1	紺野（東農大）	4’19”85	4
	2	小日向（オムニ）	3’59”29	1
	3	桶（北大）	4’19”03	3
	4	山﨑（商大）	4’15”92	2
順位決定 21-24位	2	山﨑（商大）	4’15”38	2
	3	桶（北大）	4’14”63	1
	4	紺野（東農大）	4’42”48	3
順位決定 17-20位	1	今西（札幌RC）	4’23”03	2
	2	森（商大）	4’25”44	4
	3	宗澤（東農大）	4’13”18	1
	4	末光（札幌RC）	4’24”69	3
順位決定 16-19位	1	小野寺（北大）	4’05”88	3
	3	村岡（道新RC）	4’00”28	2
	4	上杉（商大）	3’59”63	1

２年目　山﨑　守熙

今回の大会では、自分の実力を全て発揮できたと思う。確かに結果はあまり良くなかったが、単に怪我なども含めて自分の力が及ばなかったからであり、そのこと自体は悲観する必要はないだろうと思う。一度勝った相手に二度目で負けるなどの悔しさも経験できたので、そういった意味ではこの大会で自分は大きく成長することができたかもしれない。

４年目　上杉　昂也

最後の茨戸レガッタはシングルで出漕し、13 位という結果でした。約一か月シングルで練習し、スプリント系のメニューを多く取り入れたのですが、なかなか上位に進出することはできずに終わってしまいました。自分は今までをトータルで振り返ってみて、シングルとフォア 4 対 6 くらいの練習量だったと思いますが、いまだに改善するところが多く、人と比べて相対的に見ても、あまり上手く漕げていないと思います。それを最後に払拭すべくやってきましたが、順位として結果は出ませんでした。

ただ、一つだけ良かった点があるとすれば、予選で 4’04 といつも通りの記録でしたが、順位決定戦で 3’59 と初めて 4’00 を切ることが出来たことです。計測などでも出ていなかったのでここだけは嬉しいところでした。

しかし、隣の北大、医学部勢は 4’00 など当然のように切ってくるので、彼らに対抗してそしてインカレで戦えるようになるにはまだまだ練習が必要だと感じました。残された時間はとても少ないですが、毎日毎日の積み重ねを少しでも多くして、インカレの舞台で勝つことを想像しながらボートを漕ぎたいと思います。

４年目　上杉

２年目　森

２年目　山崎

戸田レガッタ

対校女子シングルスカル　〔瀬尾　玲美(4)〕

組	レーン	クルー	タイム	順位
予選2組	2	瀬尾（商大）	4’39”81	3
	3	斉藤（北大）	4’29”93	2
	4	呉人（北大）	4’23”17	1
順位決定5-7位	2	瀬尾（商大）	4’32”90	1
	3	岡（北大）	4’35”70	2
	4	大熊（道新RC）	4’48”13	3

４年目　瀬尾　玲美

今大会はわたし一人で遠征し、出場しました。以前から交流のある成蹊大学さんが艇庫に寝泊まりさせてくれ、エッセンも成蹊大学さんのマネージャーさんが作ってくれました。初めてSRDの付いたシングルスカルで練習しましたが、リギングや練習はキラーホエールの中井さんや、以前茨戸の大会に来てくださり、エルゴの指導もしてくださった、早稲田のＯＢで警察庁ボート部の監督をなさっている筏さんに見てもらえました。多くの人に支えられ、天候も北海道の夏くらいの暑さで過ごしやすく、万全の状態で大会に臨むことが出来ました。

反省点は、予選と決勝にあります。予選は、他クルーと圧倒的な差があり、自分を追い込むことができなかったことです。準決勝はタイムによってレースが組まれることや、速ければ速いほど有利なレースになることを忘れ、悠々と漕いでしまいました。決勝は、決勝に行けたことそのものに満足してしまい、気が抜けたことです。予選前日の練習で並べた後輩が隣のレーンだったため、その後輩に負けたくない！という気持ちはもちろんありましたが、それ以上に抜けた気持ちの方が大きかったです。スタートもラストスパートも失敗し、オールが切り込んで艇が一旦止まってしまい、散々なレースとなりました。

しかし、戸田の大会で初めて決勝に進出できました。かなり嬉しかったです。相手の背中を見ながら漕ぐことがどれだけ楽しいかも思い出しました。わざわざ応援に駆けつけてくださったＯＢの皆様の喜ぶ姿を見れましたし、facebookでもお祝いのメッセージをたくさんいただきました。成蹊大学の皆さんも、決勝が決まったとき自分の大学のことのように喜んでくれましたし、決勝で負けてしまったときも、自分の大学のメンバーにするように辛辣なダメ出しをしてくれ、また、優しい言葉をかけてくれました。わたしは一人ではないのだ、わたしの勝利は皆の勝利なのだと改めて思いました。

わたしの場合、他人のために漕ぐことが、自分のためになります。レース終盤はやはりつらかったですが、伴走してくれている皆の顔や茨戸で結果を待っている商大ボート部員の顔が自然と頭に思い浮かびました。彼らをがっかりさせたくない一心でひたすらゴールを目指しました。今後も他人のために、つまり自分のために勝つために漕ぎ、漕ぐために勝ちたいと思います。

４年目　瀬尾　玲美

対北から１週間､悔しさをバネに漕ぎまくりーとはいきませんでした｡身体のあちこちが痛み、練習できない日々が続きました。しかし、腰痛がなくなり、腰だけは全く気にせずに漕げるようになったことはとても嬉しかったです。

茨戸レガッタ１日目のレースはアップの内容を活かすことができず､北大同期の２艇にかなり差をつけられてしまいました。２日目は終始調子が良く、１日目と同じようなコンディションでしたが７秒縮めることができました｡それでもやはり５月の大会のタイムより明らかに遅かったので、喜ぶことはできませんでした。やっぱり決勝に行きたかったです。

招待クルーの中部電力さん(女子)の漕ぎがとても勉強になりました。力強く、フィニッシュが綺麗でした。ラストスパートは傍から見ても分かるくらいぐんぐん上げていましたし、１本の強さが周りのクルーと違いました。レセプションで１年生の頃から憧れだった大石綾美さんとお話できましたが、私と同じように膝を故障し、更に以前肋骨を骨折していたそうです。それでも力強い漕ぎは健在でしたし、「頑張ろう！」と鼓舞してくださいました。私も大石さんのようになりたいと思います。

また、武田大作氏に練習の話やメンタルトレーニングの話をたくさん聞くことができ、筋トレのアドバイスもいただけました。それらの中で印象に思ったことがあったので、箇条書きですが書きます。

･武田大作氏でもボートはつらい
･武田大作氏の練習を見てくれるコーチはいない
･コースをどれだけ速く漕ぐかに集中する
･意識すれば出来る程度ならまだまだ。無意識にできるようにならなければいけない
･ごちゃごちゃ考えるのは、ボートを「非日常」と捉えているから。非日常を日常にしよう。歩くときに「右足出して…重心変えて…左足出して…」って考えますか？
･武田大作氏はまだ現状に満足していない。更に上を目指している

インカレまであと少し。いただいたアドバイスを最大限に活かし目標を達成したいです。

４年目　瀬尾

谷津さんと岩澤さんのダブル:チーム三河屋

１年生

三浦と岩澤さん

茨レガ懇親会にて中部電力さん(左)と武田大作さん(右)と

監督兼ヘッドコーチ報告

監督兼ヘッドコーチ　谷津　法彦(Ｈ５年卒)

☆対北大定期戦、茨戸レガッタについて（H26.4 月～H26.6 月）

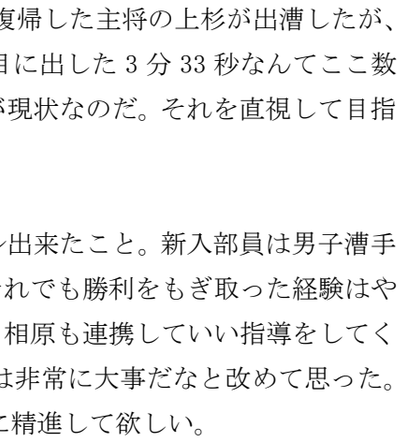
4 月の新人勧誘終了後、4 月 21 日から本格的に北大戦に向けた選考を始めた。
クルーは男子が付きフォア、女子は瀬尾のシングルである。フォアの方はその当時漕手は 7 人いて、その中から選考するという意図であった。しかし 2 年目の森は応援団活動で充分練習に加われない、同じく 2 年目の山崎は腰痛、主将の上杉も体調不良でずっと合宿に参加出来ないでいた為、自然と残りの 4 人で組むことに決まった。シートは S.高木(3)、3.安生(3)、2.荒木(4)、B.平(4)、C.中村(3)。補漕もいない為、故障者が更に出ればレース開催自体が危うい状況ではあったが、目標タイムを 7 分 10 秒に定め、まずトップスピードを高めること、更に 1,000m で 3 分 30 秒を出せない事には勝負にならないと判断、例年になく 300m 漕などのショートピースの練習を増やした。それを軸にロング漕やオーバーディスタンスなどのトレーニングを組み立てた。5 月 18 日にはラフで練習が寸断されまくったにも関わらずランニングスタートの 500m で 1 分 42 秒を出して、自分達のスタイルみたいなものを掴みかけた。上級生ばかりという事もあるかも知れないが、ここ数年のフォアの中では秀逸のクルーだった。理想とするローイングのイメージを具現化してくれたという思いもある。しかし 5 月下旬くらいから伸び悩み、漕ぎは悪くないのだがタイムが伸びないという時期にはまった。故障を我慢しながら漕いでいる者もいて、何となく雰囲気もネガティブなものが入ってきた。ここでメンタル面の支えをもっと出来なかったかと言う思いは残る。本番では 7 分 7 秒 49 で敗れた。500m だけ見ればほとんど並んでいて 1 分 41 秒、1,000m では 3 分 29 秒であるから、設定した目標からみれば決して悪い出来ではなかったのだが、北大が完全にそれを上回っていた。つまり目標の段階でもっと上方修正が必要なのである。ある漕手が北大の 6 分 53 秒というタイムと比べて、エルゴの 2,000m 平均タイムの差をそのまま反映しているのでは、との反省意見を出した。確かにその通りと言っていい。そう考えれば理想の漕ぎだの技術だの以前に冬場からのフィジカル面の鍛え方を再考せねばならない。
女子シングルの瀬尾は練習量の差だろう。自分のブログで練習の事を書いているが、瀬尾は出たり出なかったり。はっきり言って満身創痍である。単身乗り込んだ戸田レガッタでは決勝に進んだものの、茨戸に帰って来てからそこで得た反省をどれだけ活かせたかと言われれば心許ない。練習でいい部分・改善出来る部分が出るのだが、痛みが出れば練習は途切れがちになる。継続出来ないから定着しないし、何より 2,000m 戦いきるフィジカルが養われない。自分は救助艇のモーターに乗ったので対校レースを全部見た。中盤以降北大・呉人との水中スピードの差は歴然だったが、その反面持ち前のリーチの長さ、練習の中でやろうとしてきたポイントを表現し続けようとするある種のタフネスさが最後まで消えないのもまた瀬尾の持ち味なのであった。

その翌週に行われた茨戸レガッタでは男子フォアと女子シングルの他にも上級生としてはシングルレースデビューとなる 2 年目の山崎、森、やっと戦線に復帰した主将の上杉が出漕したが、決勝進出は無しという寂しい結果で終わった。フォアが 2 日目に出した 3 分 33 秒なんてここ数年では一番いいタイムなのだが、それでも置いていかれるのが現状なのだ。それを直視して目指すレベルを引き上げる必要がある。

特筆すべきは 1 年目が北大戦、茨レガのいずれも 1 着でゴール出来たこと。新入部員は男子漕手 4 名、女子漕手 1 名、女子マネ 1 名と決して多くはないが、それでも勝利をもぎ取った経験はやはりこれからにつながるだろう。新人トレーナーの森、鈴木、相原も連携していい指導をしてくれている。当たり前だがしっかり漕げる者が指導に当たる事は非常に大事だなと改めて思った。あの時は良かったね、で終わらないよう持ち前の元気さで更に精進して欲しい。

今現在はインカレに向けて選手選考を行っている。男子対校はフォア。先のクルーメンバーに主将・上杉と 2 年目の森が加わってしのぎを削っている（残念ながら 2 年目漕手の山崎は腰の調子が非常に悪い為、この度正式に漕手を辞めてバックに回った)。フォアの選考からもれた者が小艇で挑戦することになる。誰が対校に乗るにせよ課題はトップスピードを維持出来るだけのフィジカルを伸ばすこと。女子シングルの瀬尾も毎スタンバイ全力で漕ぎ通せる事は少ないかも知れないが、ラストシーズンに悔いを残さないよう目的意識をしっかり持ちながら日々過ごして欲しい。

今年のインカレは８・１５より埼玉県立艇庫に宿泊するので、戸田近郊にお住いの方はぜひ練習も見にいらしてください！



なぜかボート部で(一部の男子の中で)流行っているクレヨンしんちゃん･･･略してクレしん

後援会費について

後援会費は、原則として１年で¥10,000 の定額です。¥10,000 以上の金額をいただいた場合も、後援会費としてお預かり致します。後援会費はほぼ全額が現役部員の活動援助金として充てられますので、できる限り多くの皆様のご協力をお願い致します。（尚、後援会会則に則り、満年齢 65 歳以上の会員の方・既婚女性の会員の方は原則後援会費は免除扱いとなっています。）

後援会費は、**日本信販の自動引落サービス**をご利用できます。できる限り多数の OB の方々がご加入下さいますようお願い致します。ご加入方法及び引き落とし口座の変更につきましては、現役会計(瀬尾玲美)か担当の平成 10 年卒 佐藤公洋までお問い合わせください。

連絡先　４年目 瀬尾玲美

TEL:080-1865-1192

✿個人情報保護の取り組み✿

後援会会員の方々には、小樽商科大学漕艇部の活動に必要な情報として、お名前・連絡先・勤務先などの個人情報をご提供いただいております。小樽商科大学漕艇部では、ご提供いただきました個人情報につきましては以下のように取り扱います。

・会員の方々の個人情報の利用については、小樽商科大学漕艇部の活動(後援会誌『しゃち』や『Killer Whale Times』の発送など)の範囲内での利用に限定します。
・ご自身に関する情報の訂正・削除などのご依頼があった場合は、特別の理由　　がない限り対応をいたします。
・会員の方々の情報保護が確実に実施されるための継続的な改善を行い、適切　に管理いたします。

ご意見やご提案等がございましたらお問い合わせください。今後ともよろし　くお願いいたします。

連絡先　４年目　上杉昂也

TEL:070-5048-45311

Mail: rowing1937@yahoo.co.jp

～～～～～～～お知らせ～～～～～～～

部員数の減少等で郵送費を捻出するのが難しくなり、郵送費削減のため前号をもちまして、THE KILLER WHALE TIMES の郵送を廃止し、メール配信と小樽商科大学漕艇部ＨＰ上での掲載に切り替えることが昨年１１月の総会にて決定されました。
メール配信を希望される方は、お手数ですが rowing1937@yahoo.co.jp までご一報ください。 よろしくお願い致します。
今後もより多くの方に現役部員の活動の様子が伝われば幸いです。
後援会の皆様には今後とも温かいご支援、ご声援のほど何卒よろしくお願い致し　ます。

タイムス班　３年目　後藤詩央里

壮行会での応援団との集合写真